

報道関係者の皆様へ

2006年 10月吉日

＜年中行事と和菓子＞

七五三

11月15日、華やかな衣装を着て、神社へお参りをする七五三のお祝い。
今回はこの七五三の由来について、子供たちの健やかな成長への願いをこめた愛らしい
お菓子「稚児饅頭ちごまんじゅう」、「兎饅頭うさぎまん」などとともにご紹介致します。

★ 七五三の由来は？

七五三は、子どもの成長を祈願し祝う行事です。

古来行なわれてきた、男女が髪を伸ばし始めるかみおき髪置、男児が初めて袴をはくはかまぎ袴着、女兒が童子用の付紐を解き、初めて帯を締めるおびとき帯解などの通過儀礼や、地域の氏神祭、収穫を感謝するとともに産土神に子の守護を祈願する霜月祭などの祭礼が起源と言われます。成長した子どもたちが、氏神様の氏子になり社会の一員として認められる、そのような節目の意味もあったのでしょう。

★ どうして11月15日？

七五三が11月15日に行われるようになったのは、一説に三代将軍徳川家光が虚弱であった四男徳松(後の五代将軍綱吉)の5歳の祝いを行ったのが由来ともいわれています。

わが子が立派に成長することを願う親の気持ちは、昔も今も変わりませんね。

★ 今日の七五三

今日でも、男児は羽織・袴、女兒は振り袖を着てお宮参りをします。家族に手を引かれて歩く、肩揚げも初々しい幼子の可愛い姿、そして時代を経ても変わらない、子の健やかな成長を祈る親の思いに心和む季節です。

「とらや」では子供たちの成長を願い、可愛い五色の小さなお饅頭「稚児饅頭」と紅白の兎の形のお饅頭、手提げ袋やかけ紙をご用意致しました。

<お菓子のご案内>

ち ご まんじゅう
稚児饅頭 (薯蕷饅頭：紅・緑・黄・白・紫の五色の小さな饅頭) ※同封写真参照

価 格：1,890円(税込)(各色2個・計10個入)

販売情報：●11月4日～15日(期間限定販売)

＜関東＞直営店ほか、百貨店内とらや売店(一部店舗では予約販売のみ)

＜関西＞一条店、四条店ほか、京都、大阪、神戸、名古屋の百貨店内とらや売店

※上記の店舗では10月15日より、期間外でも予約にて販売いたします(一部店舗を除く)。詳細は各店舗にお問い合わせください。

うさぎ まん
兎 饅 (薯蕷饅頭：兎をかたどった紅白の饅頭) ※同封写真参照

価 格：945円(税込)(化粧箱紅白2個入、紅：小倉餡、白：御膳餡(こし餡))

販売期間：11月4日～11月15日(期間限定販売)

販 売 店：＜京都＞一条店、四条店、京都高島屋売店、京都大丸売店、京都伊勢丹売店

※上記の店舗では10月15日より、期間外でも予約にて販売いたします。

※上記以外の関東、関西の店舗ではご予約のみにて、10月22日～11月15日の期間、販売いたします。

詳細は各店舗にお問い合わせください。

※七五三専用掛け紙、手提げ袋もご用意しております。

※上記商品、取扱店など詳しくはお問い合わせ下さい。

★上記の内容を掲載・放送して下さる場合…

読者・視聴者の皆様からのお問い合わせ先は、フリーダイヤル 0120-45-4121 として下さい。

★この件に関するお問い合わせ・取材は… 株式会社虎屋 広報部 03-3408-4128 までどうぞ。

<http://www.toraya-group.co.jp/>